

第3回 魚津市総合計画審議会 議事概要

【日 時】 令和7年2月27日（木） 午後3時00分から午後4時30分

【場 所】 魚津市役所2階 第1会議室

【出席者】 委 員 19名 前澤会長、秋元委員、朝野委員、伊藤委員、大澤（千）委員、
大澤（ま）委員、大坪委員（代理：武隈委員）、柿本委員、
河村委員（代理：寺崎委員）、佐々木委員、島津委員、
高田委員、高野委員、中野委員、中村委員、濱元委員、
山本委員、横田委員、若林委員
(欠席：慶伊委員、平野委員)
市当局 4名 宮野企画部長、浦田企画部次長、
(事務局) 徳道企画係長、山内主任

15：00 開会

事務局 定刻となったため、「第3回魚津市総合計画審議会」を開会する。本日の審議会は先に実施した市民意識調査等の結果報告、及び、今後の策定スケジュールの変更点についてである。前回に引き続き報告事項がメインだが、お気づきの点等あれば是非忌憚のないご意見をいただくようお願いする。それでは会議の進行を前澤会長にお願いする。

会 長 では次第に従って進める。次第1. 第2回総合計画審議会の振返りについて、事務局より説明をお願いする。

事務局 (説明)
第2回総合計画審議会の振返りについて

会 長 これについて委員の皆様から質問、意見等あればいただきたい。
出生率については大変重要。これからどう考えていくかという方針は既にあるか。この段階で聞くものでもないかもしないが。

事務局 前回の時点では、高い目標を掲げて設定していた。県や他市町村でもそうだったと思うが、この段階で、依然として下降している流れは変わらない中で、どういう受け止め方をしていくかということを聞かれているかと思う。決定ではないが、現実に見合った数字を設定しながら、そういう状況の中どう進んでいくかというまちづくりの体制を整えていく必要があるという考えになっていくかと思う。今の段階ではそう考える。

会 長 理想的に増やしていきたいという想いと、そうは言っても現実にどうしていくかということを、両方バランスよくやっていくしかないだろう。それについてはまた今後議論していくだろう。他に何かあるか。

A委員 この出生率はどういう値で計算しているものか。

事務局 合計特殊出生率という値である。

事務局 15歳から49歳の女性が子どもを生める年齢であるという仮定のもと、15歳から49歳までの各年齢の出産を足し上げたもの。女性が一生のうちに子どもを産む割合という想定で出されている数値になる。

A委員 簡単に言うと15歳から49歳の女性の中で、今年一年で何人の子が生まれたかというような考え方で見ればよいか。人口に対しての見方としてみるのか、一人の女性に対してという見方か。

事務局 簡単に言ってしまえば、一人の女性が一生のうちに生む子どもの人数という見方。2年前の数値が最も低く1.10だった。国では、一人の女性が2.07人の子どもをお生みになられたら人口が維持されるであろうという数字を挙げている。それを目指すのが国の考えだが、それが減少する状況にある。

A委員 昭和40年代ではどれぐらいだったのか。

事務局 50年代で2.07程度だった。そこからずっと下がっている。40年代はもっとあつたかと思う。人口などの要素が絡まって前後するが、右肩下がりの傾向にある。

A委員 そもそも、二人目のお子さんがなかなか生まれない要因は、経済的なものなのか、プライベート的な理由によるのか、国全体としてどういう理由だろうか。

事務局 色々な要素が絡まり合っているだろう。経済的なものや、個人の考え方など、様々な理由が入り混じっていることが現状かと思う。その理由が家庭によって様々で、多様化していることが大きく影響しているのではないかと思う。

会長 では続いて次第2.市民意識調査の結果報告について、事務局より説明をお願いする。

事務局 (説明)
市民意識調査結果の報告について

会長 市民意識調査結果の報告について、ご質問、コメント等あるか。

B委員 資料2-2。住みやすいと感じる人と、住みにくいと感じる人との比較を出しているが、その前段となる、住みやすいか、住みにくいかのところで、どちらともいえないという人の意見も比較対象として参考にされないのであるか。

事務局 確認しておきたいと思う。

会長 確かに人数はそれなりにある部分かと思う。他にご意見はあるか。

C委員 今回の市民意識調査について。高齢の方の回答率が高い傾向となっているが、若い層の回答率を上げていくにはどうしていくか。20代や30代の回答率を上げるには、その前から学校などと連携して、もっと質問を簡単にしたもので、まちのことに関する意識をあげていくこともしてみては。

事務局 資料2-1で上げている年齢の割合だが、そもそも10代、20代の回答も母数として多くはない。回答率そのものが低かったというよりも、集団として少ない結果となっている。回答率そのものが低かったとは言い切れないかと思う。

C委員 今後若い世代の方ももっと回答していただけるように、と思う。

会長 今のご意見に関連して、7ページの集計の年代別結果について。これは元々高齢者の割合が高いことによってこうした結果になっているとみてよいか。年代別の回収率のパーセンテージを見せていただけると良いかと思う。

事務局 本来お配りした3,000人のなかで、各世代が何名あって、そのうちのどれだけ回答があったかを確認したい。

会長 お配りした3,000名の数は、住民の年齢構成に比例してそうなっているのか。

事務局 おっしゃる通り。無作為抽出となっているが、地区ごと、年代の人口ピラミッドに応じた数で発送している。

会長 それであれば、地域ごとの集計も、地域の人数のパーセンテージと合わせてみせていただけだと分かりやすくて良いかと思う。

事務局 属性の出し方は、前回の調査の出し方と合わせたもので出させていただいている。いただいた回答の中での属性の割合としてお示ししているものとなる。

会長 承知した。他にご意見はあるか。

A委員 1,600人の回答で70歳代が何人いるかというのは調べないとわからないか。

事務局 資料10ページの結果のグラフで、N数が示されている。この数字が回答者の人数となる。10代は18歳と19歳だけなので、もともとの数も少ない。

A委員 50歳代以上が半数を占めていると思うと、30代40代の意見ももう少し割合をあげなければと感じる。

事務局 5年前の調査も似た結果となっていた。なんとかうまく、すべての世代から同じような数を得られる方法があればと思う。

B委員 60歳代以上の意見が多くなるとどうしてもそちらに寄ってしまうのではないかと危惧する。年配の方々の意見も大事だと思うので集計は大事だと思うが、今おっしゃっていたような20代～40代の方の範囲に絞った集計をとって、求めているものを重点的にやっていただくななど、そういうことも考えていただけたらと思う。

事務局 全体版では各設問にクロス集計を載せている。年代別の回答も出している。24ページ以降で年代別の結果を出しているところもある。同じ問い合わせに対しても年代で異なるところはわかってくるかと思う。

会長 パッと見て年代で違うところはあつただろうか。

事務局 16番の高齢者の生活支援の充実というところでは、10代20代の不満度は高くはない。60代70代になると、不満、やや不満の割合が高くなってくる傾向はある。そうしたところは年代で異なっている。

A委員 これを見て、若い人の満足度の結果について思い違いをしていたなと感じた。

会長 ほかに何かあるか。では次に進める。次第3. 団体意向調査結果の報告について、説明をお願いする。

事務局 (説明)
団体意向調査結果の報告について

会長 これについてご意見やご質問などあるか。

A委員 県外から移住した時に、何か補填するものはあるのか。例えば県外の大学を卒業して魚津の会社で働くとなった時に出るようなものなどはないのか。

事務局 今おっしゃられたものに関しては無いが、それ以外であれば、移住して来られた方に県内からの方でも移住の補助的なものはある。

A委員 例えば、月に数万円補助するなどといったものはないか。

事務局 エリアを限定したりしているが、家を建てていただいたりする場合は大きな金額での補助はある。

会長 他にあるか。

D委員 この団体意向調査が来たが、私共の団体では提出が少し遅れてしまった。申し訳ない。回答の仕方が少し難しかったところもある。「戻る」ボタンを押してしまって、せっかく入力した回答が消えてしまうなど困ったことがあったので、できれば、回答システムはもう少し易しいものをお願いできればと思う。

労働環境の改善について、商業の振興に関して書かせていただいたが、若い人の流出を企業の努力として引き止めたい思いはある。私共のところでも、新卒採用やタイアップでもいいが、そうした人を求めようとしたとき、次代の流れなのか、魚津市的には合同企業説明会などはせず、各社に努力を求めるところなのかなと感じている。

コロナ禍前はそうした場があったと思う。大きい会社はホームページなどで情報を掲載できて、採用活動はすごくスムーズだと思うが、従業員が10~30人という会社にとっては、若い人を引き止めたいと思った時に手段が足りていない。自分たちの努力は必要だが、そういったところもお手伝いしていただくようなものがあればと思う。

6月に高校生に向けた企業説明会などされているとはお聞きした。そのあたりも魚津市は今後どうなのかお聞きしたい。

事務局 6月に、就業だけでなく就学の面接などもアリーナで行っている。あわせて、ハローワークさんにお力をいただきて、魚津と滑川の合同での説明会を行っている。そういうところも非常に大事な取り組みだと思うので、今後に生かしていくべきだと思う。

会長 他にご意見はあるか。では次第4. 今後のスケジュールについて、説明をお願いする。

事務局 (説明)
今後のスケジュールについて

会長 これについてご意見、ご質問等あるか。特に無いか。これは今後のスケジュールとして気に留めていただければと思う。では、5. その他について説明をお願いする。

事務局 (説明)
その他について

会長 これについてご質問、コメント等あるか。

E委員 高校生のアンケートは非常に良いと思うが、魚津市へ移住された方への、過去何年かでのアンケートや指標などは、別の課でとっておられるのだろうか。

事務局 おっしゃる通り。過去に調査を行ったものもあり、それらも参考にしたいと考えている。

E委員 魚津市はよく住みよさランキングに出ているかと思う。昨年も富山県で1位のようで、それは非常にうれしいが実際にはどうなのか。何故そのように思われているかなど、それを参考にしてなるべくたくさん的人に移住していただければと思う。移住者の方々の感想も非常に大事だと思うので、そういったところも総合計画に反映していただけたら良いのではと思う。

会長 他にご意見はあるか。よろしいか。では、本日の議題はここまで。他に全体でご意見やコメントはあるか。ないか。では皆様の意見も出尽くしたようなので、事務局では十分に検討されて、反映されるようにお願いする。進行はここまでとする。

事務局 これをもって本日は終了とさせていただく。

事務局より2点お願い事項がある。1点目。委員の皆様のお手元に意見用紙をお渡ししている。会議中でのご発言以外で、提案や意見等があれば記入いただき、ご提出をお願いする。

2点目。年度替わりであるため、委員様の交代があれば、事務局までご連絡をお願いしたい。交代の手続きについてご案内させていただく。以上となる。

これで本日の会議は終了とする。

16：25 閉会